

危機にまで来てしまいました。でも水や空気を汚す石油や原子力を使わなくても電気や熱や燃料を得る方法があるということを伝えたいですね。

多くの人が、地球環境はまだまだ続くと思ってるんです。政治家も財界もビジネスマンも水素をやってる人も。でも僕は違うんです。もう限界にいってると思うんです。だからもうそんな余裕はないですと。人間の状態もそうです。症状が出来るっていうのはそうとう重い状態です。でもある意味、これは人類が成長するために覚悟して体験していくかないと目覚めないことですね。

大切なのは、国益とか宗教とか企業の利益を超えてみんなが協力していくことを形にすることだと思ってるんです。僕らがNGOを立ち上げた時は、世界にその例すら見つけてなかったんですが、今はちょっとでも例があります。それにインターネットで世界中が瞬間にコミュニケーションがとれる時代ですから、皆さんと力を合わせて乾いた草原に火を放つように、あるいはドミノ現象のように世界中にひろげたいですね。

## インタビューを終えて

気候変動で海外産小麦の不作＝価格の急騰や輸出制限などという事態があり、やっと食料の自給、食料安保という考え方が主流となりつつある。しかしエネルギーも食料と同じく人が生きていく上で必要不可欠なものだ。日本ではいまだにエネルギーが少数の電力会社などによって独占され、結果的に水や空気を汚す化石燃料や原子力が幅をきかせている。その技術はあっても自然再生エネルギーの開発が立ち遅れ広がらない一番の原因是そこにあるだろう。

前号でも紹介した「ミツバチの羽音と地球の回転」という映画ではスエーデンの例をあげ、人々が生きていく上に必要なエネルギーを自由に選ぶシステムにより、自然エネルギーが広がっている様子を伝えていた。彼らにとって日本の電力が自由化されていないのは信じられないことだという。デンマークやスエーデンではそれが常識となり、結果的に安全で環境を汚さないエネルギーにシフトしつつある。R水素の運動はそこに焦点をあて、広く気付きが起り日本社会が変わる可能性があるのではないかと思った。(浜田)

### R水素ネットワーク

- サイトには更に詳しく水素エネルギーやR水素についての情報があります。
- ★ホームページ <http://rh2.org/>
- ★メール contact@rh2.org

# HOT NEWS

## 9月は熱い。911映画祭とイタリア映画『ZERO』の本邦初公開！

きくち ゆみ



911事件から9年たった9月9日(999)に「911映画祭」を開催します。公式サイトは：[www.peacefilm.net/911/](http://www.peacefilm.net/911/)

これは私がこの6年間、日本語版制作をしてきたドキュメンタリー映画を中心に、911事件の公式説に疑問を呈した6作品を一挙上映するものです。

これらの作品は私の講演会や東京平和映画祭などで一部を紹介してきましたが、いつも時間の関係でダイジェスト版(10分程度)を観ていただけでした。今回はダイジェスト版ではなく、全編を大きな画面で観ていただきます。

911映画祭の最後を飾るのは田中宇さんの講演です。田中宇さんは共同通信、マイクロソフトニュース(MSN)などを経て独立しましたが、2001年の事件当日から「米国政府の発表を鵜呑みにしてはいけない」と警鐘を鳴らしていたジャーナリストです。

彼の911事件に関する記事、中でも2002年1月24日以降の記事は他のジャーナリストの追従を許さないものがあります。  
<http://tanakanews.com/911.htm>

「911事件は政府発表通りではないかもしれない」ということを私が疑い始めたのは『911ボーイングを捜せ』を翻訳した2004年の夏ですから、雲泥の差です。

これだけインターネットが発達し、情報収集がしやすくなつた現代でも、マスコミが総

動員で「首謀者はオサマ・ビンラディン、実行犯はアルカイダのテロリスト」と決めれば、それが既成事実となり、「テロとの戦い」という大量殺戮が堂々とまかり通ってしまうのです。

悲しい！

でも、そろそろ目覚めましょう。911映画祭は参加費無料。心ある人の寄付だけで映画祭の開催費用を貯えるかどうか、初挑戦します。

ご縁の「なまえのない新聞」の読者のあなたも、よかつたら「911映画祭センター」になりませんか？1万円以上のサポートにはイタリアのドキュメンタリー映画『ZERO：9/11の虚構』(2010年9月11日より恵比寿ガーデンプレイス内東京都写真美術館にてイブニングショー決定！)の招待券をペアでプレゼントいたします。

●振込先：郵便振替 ハーモニクスライフセンター 00110-1-144224

\* 通信欄に「911映画祭センター」と必ず明記ください（通信欄に記入がないと何の入金かわからず、招待券を送ることができません）。

なお、映画『ZERO』はこれまでの911関連作品を超える「911ドキュメンタリーの決定版」(ヨーロッパ映画だからここまでできたのでしょうか)。米国政府高官や遺族、軍関係者、パイロット、物理学者、大学教授など社会的信頼の厚い人たちが自分の肩書きと名前と顔を堂々と出して、911事件の真相を追及していく様は感動的です。

●『ZERO：9/11の虚構』公式サイト：  
<http://zero.9-11.jp>



# HOT NEWS



## 「BE-IN TOKYO2010」～平和の火を灯すピースギャザリング

(谷崎テトラ=ワールドシフト・ネットワーク・ジャパン代表)

今年も、9月11日に平和と反戦のイベントBE-INが開催されます。Be inは平和な社会へのワールドシフトを願う人々が集まる場所です。

「Be-In (ヒューマン・ビーイン)」は、もともとベトナム戦争当時のアメリカではじまりました。平和を愛するひとが、ただ集まり、歌い、踊り、語る場所。反戦・平和運動とロックカルチャーが結びついて生まれた新しいピースムーブメント。それは意識革命のはじまりを告げるものでした。

日本ではじまったのは2002年9月11日。東京、明治公園。NY同時多発テロの一年後。アフガニスタンの空爆、イラク戦争に反対するひとびとが集まつたものでした。以降、毎年、詩人やアーティストが集まり、キャンドルを灯し、語り、平和を祈るというギャザリングが続いている。

今年も65年前の広島の原爆の残り火(星野村に保存された原爆の火)を灯したろうそくが並べられ、直径30メートルを超えるピースマークの形をつくります。皆の「平和を祈る気持ち」を集め、相乗効果を起こそうというギャザリング。美しいピース・キャンドルを灯しに来ませんか?

「BE-IN TOKYO2010」

場所 明治公園

地下鉄大江戸線「国立競技場」下車徒歩2分

雨天決行

BE-IN TOKYO2010 HP

<http://be-in-tokyo.net/>

## ピースデイ～ひとがひとを殺さない日

(谷崎テトラ=ワールドシフト・ネットワーク・ジャパン代表)

有史以来、ひとがひとを殺さなかった日は一日もなかつた。せめて一日だけでも人が人を殺さない日を作れないか? 戦争、紛争、暴力のない日をつくりたい。それがピースデイです。

もともと9月21日は国連が定めた平和の記念日でした。80年代から提唱されていたのですが、あまり知られていませんでした。そこでピースデイをひろめようと映画監督のジェレミー・ギレーやアンジェリーナ・ジョリーやジュードロウなどの俳優が行動をおこし、2002年から正式に「国際平和デー」と呼びかけがはじまりました。

この日は非暴力の日として、世界中の国と人々に戦争・紛争などの敵対行為を停止するよう働きかけています。すべての国、すべての人々にとって共通の理想である国際平和を祈り、推進していく日。国連はすべての加盟国、国連機関、地域組織やNGO、個人に対して、この日を祝うよう呼びかけています。

この「ピースデイ」も「アースデイ」のように広がっていくといいなと思っています。9月21日前後、ピースなイベントをネットワークしていくというのはどうでしょう? 今年のピースデイ。あなたも何か平和のための



行動をおこしてみませんか?

(\*ピースデイの詳細はジェレミー・ギレーの映画『ザ・ディ・アフター・ピース』のなかに詳しく描かれています。)

## ミニコミ図書館その後

★長年ミニコミや市民運動の会報など自主的な市民の声を丸山館長やボランティアの力で収集・保存してきた住民図書館が2001年に埼玉大学の共生社会教育研究センターにうけつがれてから久しいが、それがこの秋からは立教大学に引き継がれて「市民資料」の保存・管理・運営していくことになった。本誌をはじめ、すでにミニコミ23万点が移管されたという。埼玉大の場合と同様、大学という枠にとらわれず、社会に広く開かれたセンターとして運営していくという。今のところは暫定運用で資料受け入れをはじめ、本格的には2012年をめどに活動開始するそうだ。

連絡先は:

●〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1  
立教大学共生社会研究センター  
Tel. 03-3985-4457/Fax. 3985-4458

★一方、東京の多摩地区でも市民運動の資料などを整理保存する活動が続けられてきた。2002年に都によって廃止されるまで都立多摩社会教育会館・市民活動サービスコーナーが30年間にわたり500箱の市民活動の記録を蓄積してきた。2002年以降も市民による資料収集がつづけられ、2006年からは市民活動資料センターをつくるために学習会やシンポ開催などの模索が続けられてきたが、このたび市民活動資料センター基金を立ち上げることになり、7月4日に創設集会が立川で開かれた。賛同人には住民・市民運動家やミニコミ発行者、大学関係者、地方自治体議員など、草の根の活動をしてきた人たちが並び、本誌に縁のある人も多い。

募金の要領は:目標8000万円/2010.7～2015.6/多摩地域又は近隣地域に建設予定(募金額: 1口)

・A: ¥5000/B: ¥50000/C: 500000/D: ¥1000000/カンパ: 金額は問わず、となっている。

(振込先) ゆうちょ銀行 00100-7-457008  
「市民活動資料センター基金」

●〒190-0022 東京都立川市錦町3-1-28-301  
市民活動資料・情報センターをつくる会  
Tel/Fax. 042-540-1663